

科目名	倫理		選択必修 自由選択	使用 教材	倫理（東京書籍） 最新倫理資料集テオリア（第一学習社）
学年 学級	3年	単位数	2	教科 担当	山田 駿

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	<p>第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方 生き方</p> <p>第1章 人間の心のあり方</p> <p>1節 人間とは何か</p> <p>2節 人間の心の働き</p> <p>第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ</p> <p>1節 哲学すること</p> <p>2節 ギリシャの思想</p> <p>3節 宗教と社会</p>	<p>・「公共」の学習を振り返りながら、青年期の自己形成について考え直し、現代社会で生きていく上で、青年期に求められること、認知活動と知覚、学習の法則、記憶のプロセス、推論と問題解決について理解し考えることが出来る。</p> <p>・人間が考えることや、宗教の持つ意義を理解させ、それをもとに善く生きるとはどのような生き方かを考える。生きることについての価値を考える</p>
	<p>4節 キリスト教</p> <p>5節 イスラーム</p> <p>6節 仏教</p> <p>7節 中国の思想</p> <p>8節 芸術</p>	<p>・人間が考えることや、宗教の持つ意義を理解させ、それをもとに善く生きるとはどのような生き方かを考える。生きることについての価値を考える</p> <p>美を求める心や、それが人生を豊かにするものであること、芸術とは何か、芸術作品と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりにして多面的・多角的に考察する</p>
2 学 期	<p>第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ</p> <p>1節 近代と人間尊重の精神</p> <p>2節 近代思想の展開</p> <p>3節 人格の尊厳と人倫の思想</p> <p>4節 社会変革の思想</p> <p>5節 理性への疑念</p>	<p>・近代の西洋思想について、経験論と合理論の特徴および科学的な思考との関連について理解する</p> <p>・社会契約説と民主社会成立の関連について理解する</p> <p>・社会主義や実存主義等、近現代の思想が登場した背景およびその内容について理解する</p>
	<p>6節 人間観・言語観の問いなおし</p> <p>7節 他者・自然とのかかわり</p> <p>第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>1節 日本人の精神風土</p> <p>2節 仏教と日本人の思想形成</p> <p>3節 儒教と日本人の思想形成</p> <p>4節 国学の思想</p>	<p>「他者」とはどのような存在か、また、私たちはどのように「他者」とかかわるべきか、という観点から、レヴィナス、ベンヤミン、アレント、フランクフルト学派、ウィトゲンシュタインの思想について理解し比較しながら、多面的・多角的に考察する</p>
3 学 期	<p>5節 庶民の思想</p> <p>6節 西洋思想と日本人の近代化</p> <p>7節 国際社会に生きる日本人の自覚</p> <p>第2編 現代の諸課題と倫理</p> <p>1節 生命 2節 自然 3節 科学技術</p> <p>4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和</p>	<p>・日本の風土や文化的伝統と日本人独自の価値観との関連性について理解する</p> <p>・環境破壊・生命倫理など現代の課題について理解する</p> <p>（第4章に関しては夏休み等に必要に応じて講習等を実施することもある）</p>

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

倫理の授業は共通テスト受験にも対応できるよう進めていきます。受験生は多くの科目を勉強するので、倫理は授業内で理解すること、考えることを意識しましょう。特に授業内では自らの意見を述べるだけでなく、多くの人の意見を聞く機会もあると思います。他者の意見も尊重し、考える力を養っていきましょう。

ルーブリック評価					
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能	論理的思考力 批判的に事象を読み解く力	社会に参画しようとする力 粘り強く学習に取り組む力		
評価規準	○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 ○諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報をまとめている。	○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。 ○良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。	○現代の倫理的課題についての探究的な態度を身に付け、他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを行おうとしている。また、そのような取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。		
A	立高生として目指すべき目標	4	○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について深く理解している。 ○諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を十分に深めている。 ○良識ある公民としての広い視野に立ち、主体的かつ公正な判断をしている	○現代の倫理的課題についての探究的な態度を身に付け、他者と共によりよく生きる在り方を主体的に深く探究しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを十分に行おうとしている。
B	立高生として求める標準	3	○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について適切に理解している。 ○諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切にまとめている。	○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。 ○良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしようとしている。	○現代の倫理的課題についての探究的な態度を身に付け、他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを行おうとしている。
		2	○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しようとしている。 ○諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報をまとめようとしている。	○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めようとしている。 ○主体的かつ公正な判断をしようとしている。	○現代の倫理的課題についての他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている
C	立高生として初歩的段階	1	○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察している。	○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見しようとしている。	○現代の倫理的課題についての他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。
評価方法		定期考査、振り返り確認問題	ワークシート、課題レポート、定期考査	振り返り、課題レポート	
観点別評価		4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	

科目名	政治経済		必修選択 自由選択	使用 教材	『詳述 政治・経済（実教出版）』・『最新図説 政経 2026（浜島書店）』・『入試対策問題集 ステップアップ公共、政治・経済（第一学習社）』
学年 学級	3年	単位数	2	教科 担当	野口英法

期 間		授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査および 期末考査まで	<p>※年間を通じて「株式学習等シミュレーション」を実施する。</p> <p>※年間を通じてその日朝の経済ニュースを視聴する。</p> <p>○現代の国際経済 商品・資本の流れと国際収支、国際経済体制の変化、グローバル化と世界金融、地域経済統合と新興国の台頭、地球環境とエネルギー、経済協力と人間開発の課題など</p> <p>○現代経済と福祉の向上 経済の停滞と再生、日本の中小企業と農業、国民の暮らし、環境保全と公害防止、労使関係と労働条件の改善など</p>	<p>※株式のしくみについて、興味・関心を持って正しく理解するとともに、時事問題と結びつけて考察し、主体的に売買を行うことができる。</p> <p>※経済ニュースに対して、習得した知識・技能を生かして、考察することができる。</p> <p>○現代の国際経済や現代経済と福祉の向上について、興味・関心を持って正しく理解するとともに、現実と結びつけて主体的に解決策を考察することができる。</p>
2 学 期	中間考査および 期末考査まで	<p>○現代経済と福祉の向上 経済の停滞と再生、日本の中小企業と農業、国民の暮らし、環境保全と公害防止、労使関係と労働条件の改善など</p> <p>○現代の国際政治 国際政治の特質と国際法、国際連合と国際協力、現代国際政治の動向、核兵器と軍縮、国際紛争と難民、国際政治と日本など</p>	<p>○現代経済と福祉の向上や現代の国際政治について、興味・関心を持って正しく理解するとともに、現実と結びつけて主体的に解決策を考察することができる。</p>
12月以降		○入試直前演習講座（全領域からの演習問題）	○総まとめ

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

メモをとる、仲間と議論する・協働するなど主体的に授業に関わり、考えながら授業に臨んで欲しいと思います。そして、授業以外の場面ではニュースや新聞などを見て、当事者意識を持ちながら社会問題に関心を持ってもらいたいと思います。その上で、疑問に思ったことを自分で調べたり、授業担当者などに聞いて解決すると力がつきます。

ルーブリック評価				
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能	論理的思考力 批判的に事象を読み解く力	社会に参画しようとする力 粘り強く学習に取り組む力	
評価規準	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。	○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。	
A	高として目指す目標 4	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて高い次元で理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を高い次元で身に付けている。	○国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を高い次元で把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を高い次元で身に付けている。	○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を高い次元で養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを高い次元で深めようとしている。
B	立高として求める標準 3	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて十分理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を十分身に付けている。	○国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を十分把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を十分身に付けている。	○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を十分養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを十分深めようとしている。
	2	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについてある程度理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能をある程度身に付けている。	○他国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題をある程度把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力をある程度身に付けている。	○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度をある程度養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などをある程度深めようとしている。
C	立高として初段階 1	○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて最低限理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を最低限身に付けている。	○国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を最低限把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を最低限身に付けている。	○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を最低限養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを最低限深めようとしている。
評価方法	定期考査、プリント提出	定期考査、プリント提出	プリント提出、出席状況	
観点別評価	4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載する	